

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム やす

目標達成計画

作成日: 平成 29年 2月 28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議では事業所の状況や活動報告を行い、参加者と意見を交換している。ただし、外部評価に伴う目標達成計画については、議題としての話し合いに至っていない。	運営推進会議にて目標達成計画を議題とし、事業所の課題を参加者に伝え、解決への協力や助言を得る。 不参加のご家族にも、会議内容の周知を図る。	運営推進会議では目標達成計画を議題として取り上げ、参加者の協力や助言を得る。また課題への事業所の取り組み経過等を記録し、会議で報告する。 議事録を不参加のご家族に送付し、広く周知を図る。	12ヶ月
2	10	ご家族の意見や要望は面会や電話などの機会に聞き、職員間で話し合い運営に反映させているが、家族会は行えていない。ご家族それぞれの事情で、家族会への参加が難しい状況であるが、家族会への参加の呼びかけを工夫し、利用者様・ご家族の意向をより多く汲み取っていく必要がある。	ご家族は世話になっている思いから、本音がいけないことがあるので、事業所から家族会の意義を伝え、家族同士のつながりを大切に少人数からでも組織化につなげ、ご家族だけで話し合う時間を設けていく。	運営推進会議議事録や目標達成計画、グループホーム便りをご家族に配布し、事業所の課題を知ってもらい、事業所運営に対するご家族の関心を高めていく。 日時や内容を工夫し、少人数からでも家族会開催に向けて活動していく。	12ヶ月
3	35	年2回の防火訓練の他、自主防災訓練も行っている。事業所は堤防を隔てて海に近く、津波のときは山側の避難場所に避難することにしているが、近隣住民は高齢化し、訓練に参加が望めない状況にある。	自主防災組織との協力体制を検討するほか、自主避難に備えて日頃から利用者様の体力づくりにも取り組む。	地域住民との交流を図り、津波避難に対する認識を共有できるようにしていく。 自主防災組織との協力体制を検討する。 散歩を避難場所までのコースにし、避難ルートを覚えてもらい、自主避難に備えて日頃から利用者様の体力づくりに取り組む。	12ヶ月